

第1学年 学級活動指導案

1 題材 「清掃活動をよりよくしよう」

(1) ア 学校や学校における生活上の諸問題の解決

2 題材設定までの過程

- 中学校学習指導要領解説特別活動編から、学校における清掃活動は「基本的な生活習慣を確立するとともに、公共の精神など社会生活を送る上で必要な資質や能力などを体得することができる」「自分自身が集団生活の一員であるという自覚と責任感をもつことができる」「集団への所属感を高め、実践活動の中で、協力、親和、責任などを体得できる」といった教育的意義があると考えられる。学校や学級をよりよくしようとする取組の中で、清掃活動を中心に実践している事例も少なくない。清掃活動を一生懸命にすることは、場を美しくするだけでなく、「～に気付くことができる」「感謝の気持ちを持つことができる」など自分自身の心を磨くことにもつながることがいえる。

生徒が意欲的に学習に取り組むためにも、学ぶ『場』である学校を、生徒達の力で清潔で落ち着いた環境に整えることは何よりも大切である。清掃の大切さに気づき、一人一人が自発的に活動し、お互いに協力し、声かけをしながら助け合い、学校環境を整えていく生徒の心を育みたいと考え、本題材を設定した。

- 本学級の生徒は、男子20名、女子18名、計38名で構成されている。本学級では入学して半年が経った今、中学生としての自覚も少しずつ芽生えはじめているところであるが、四月当初の新鮮な活動意欲が薄れはじめ、清掃活動に対しての関心も高いとは言い難い。

清掃活動に関するアンケートを実施したところ、次のようなデータが出た。

	とてもしている	少ししている	少ししていない	していない
あなたは毎日、真面目に清掃に取り組んでいますか。	44%	53%	3%	0%
あなたは清掃に取り組んでいるとき、細かい所まで気を配っていますか。	27%	40%	27%	6%

アンケートの結果から、清掃活動には真面目に取り組んでいる生徒は多くいるが、細かな所まで気を配って自主的・意欲的に清掃活動に取り組めていない現状が伺える。また、清掃時間は15分であるが、掃除を最後まで行っている生徒もいるが、半数近くはそうでない生徒もいる。それは、自分に与えられた役割しか行わないことが原因であると考えられる。

- 事前の取組においては、まず、清掃活動の意義や目的をクラス全体で確認し、自分たちが行っている清掃活動の課題を明らかにし、清掃活動をよりよくしようという目的を共有する。その後、評議員を中心に学級会の準備を行う。事前の打ち合わせでは、クラスの全員が目的をもって話合いに参加できるように学級会を行うことをクラス全員に知らせる。清掃活動がよりよくなるための案を付箋に書き、自分の意見をまとめておく。学級会では、スムーズに班で意見交流ができるように、話合いの大切なルールをクラス全体で共有する。付箋を用いて個人の意見を出し合い、話合い活動を通して班でまとめる。各班の意見は学級で「清掃の仕方」「個人・クラスが取り組む事」の2点で整理していく。事後学習では、話し合っただけの内容をもとに、もう一度自分たちの清掃活動について見直す。今後の清掃については、清掃区域の担当教員にチェックを行ってもらい、1週間ごと振り返りを行う。毎週金曜日の帰りの会の班会議で一週間の反省を行い、改善案を考え、今後の清掃活動に生かしていく。

3 単元の目標

関心・意欲・態度	思考・判断・実践	知識・理解
○「清掃活動をよりよくしよう」という議題に対して、自分の考えをまとめ、伝えることができ、他の生徒と協力して積極的に話合いに参加している。 (様相観察、プリント)	○学級の一員として、他の生徒の意見を尊重しながら諸問題の解決について考え、理由を示して意見を述べている。(様相観察、発表の仕方)	○清掃活動をよりよくするために学級で決まりをつくることの意義を理解している。(プリント、事後の活動)

4 指導計画

段階	学習活動・内容	日程	時間
事前	①清掃活動について意義と目的を確認し、個人プリントに清掃活動に対する課題を書く。	10月 6日	帰りの会
	②議題や話合いのポイントを決定する。 役割分担を決め、学級会の役割、流れの打ち合わせを行う。	10月 7日	放課後
	③話合いの実施について、全員に知らせ、個人プリントに清掃活動がよりよくなるための案を書く。	10月11日	帰りの会
本時	④学級の課題について学級活動（話合い）を行う。	10月12日	5校時 学級活動(1)
事後	⑤学級活動で決まったことをもとに班で反省を行う。	10月13日	帰りの会
	⑥清掃活動について清掃担当の先生にチェックシートを記入してもらう。	10月17日～	清掃時間
	⑦班でチェックシートの振り返りを行い、改善に努める。 自分たちで決めた改善をもとに今後の清掃活動に生かす。	10月21日～	帰りの会 (毎週金曜日)

5 本時

(1) 日時 平成28年10月12日(水) 第5校時

(2) 場所 1年2組教室

(3) 主眼

- 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする話合い活動を通して、清掃活動がよりよくなるためのクラスの決まりを作ることができる。

(4) 準備

- ①掲示用カード(議題、話合いの約束) ②発表用付箋 ③マジック
- ④班会議プリント ⑤班会議用付箋

(5) 展開

	学習活動・内容	○指導上の留意点	形態	配時		
導 入	1 学級会の目標を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> クラスの全員が、清掃活動をよりよくするという目的をもって話し合いに参加する。 </div>	○この学級会における目標を理解するために前時までの取組について思い出させる。 ○議題の設定について、クラス全員の共通理解を図るために、評議員にこの議題設定の理由を説明させる。	一斉	2		
	2 本時の議題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 議題：清掃活動がよりよくなるための決まりをつくろう </div>			3		
展 開	3 本時の流れを確認し、話し合いを進める。 (1) 話し合いの約束を確認する。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> ①全員が必ず自分の考えを言う。 ②友達の意見は最後まで聞く。 ③話し合いの内容について忠実に意見を述べ合う。 ④おかしいな思ったり疑問を感じたりするときは、質問をしたり、理由を尋ねたりする。 </div> (2) 話し合いの流れを説明する。 (3) 班での話し合いを行う。 ①意見交流をする。 ②よりよくなるための意見を5つにまとめる。 ③発表用付箋に書く。 (4) 班ごとに発表する。	○思いやりをもった話し合いになるために、評議員に話し合いの約束を説明させる。 ○議題「清掃活動がよりよくなるため」に対して忠実に意見を述べ合うようにする。	一斉	5		
					3	
					班	17
					一斉	8
	4 クラス全体で「個人・クラスが取り組む事」「清掃の仕方」に意見をまとめていき、清掃活動においてクラスでの決まりをつくる。	○意見をクラス全体で共有するために、発表用付箋を黒板に貼る。 ○「個人・クラスが取り組む事」「清掃の仕方」に評議員がまとめ、特に「清掃の仕方」については各班の清掃活動における参考にする事を伝える。	一斉	7		

終末	5 教師の話聞き、感想を書く。	○話し合い活動で決まった内容をもとに、帰りの会の班会議で掃除の見直しを話し合うことを伝える。	一斉	5
----	-----------------	--	----	---

(6) 成果と課題

・成果

清掃活動がよりよくなるためのきまりについて、個人で取り組むこと、クラスで取り組むこと、清掃の仕方という3つの観点で、話し合った。その際、まず、班という小グループで話し合う活動を設定することで、お互いの考えを尊重し合う姿が見られた。さらに、班での話し合いを活かして、クラスで取り組むことを決めたことで、今後の清掃活動を学級全体で協力して、よくしようとする実践的態度を養うことができた。

話し合いで決まったことに取り組む、帰りの会の班会議で振り返ることにより、互いの頑張りを認めたり、共に協力したりしながら、学ぶ場をきれいにする意識を高めることができた。

・課題

自主的・意欲的に取組が継続していくように、生徒同士が励ましや声かけをしていくための支援が必要である。